



令和7年度

第1回

文化財講演会

主催:(一財)北海道文化財保護協会

演題

酪連創立から100年

～雪印メグミルク バター作りからの出発～



大正14年、農民自身による生産組織としてバター作りから始まった北海道製酪販売組合。

当時まだ身近でなかったバターの製造や流通、家庭への普及



(バターチャーン変遷)

など、創立間もない頃の取組を「酪農と乳の歴史館」展示物からご紹介します。

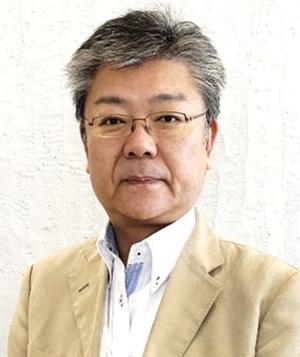
日時 5月31日(土)
13:30～15:30

会場 かでる2・7ビル 10階
1060 研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)
TEL&FAX 011-271-4220

定員 80人(申込順)

受講料 一般(非会員) 700円
保護協会会員 無料

講師



すがや まさゆき
菅谷 正行 氏

(雪印メグミルク株式会社 酪農と乳の歴史館前館長)

1964(昭和39)年東京都生まれ。明治大学卒業後、雪印乳業(株)に入社。2003(平成15)年事業分割により日本ミルクコミュニティ(株)へ転籍。2009(平成21)年経営統合により雪印メグミルク(株)。営業・企画、広報、CSR 部門などを歴任し、2020(令和2)4月～2025年3月「酪農と乳の歴史館」館長を務める。

《申込み》 (一財)北海道文化財保護協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ビル

TEL&FAX 011-271-4220 E-mail bunho@abelia.ocn.ne.jp